



↑四柱推命をコンピュータソフト化



↑東京・原宿の占い館「塔里木」の店内

## BUSINESS WARS

ダイム 戦場レポート



↑水晶に映った女占いの顔



↑情報人形たち。左から「こっくりさん人形(イワヤ)」「龍馬くん人形(ナムコ)」「インディオ人形(黒崎インターナショナル)」

モノからココロへを背景に

限りなく不透明な

# 占いビジネス

## 急成長

取材・文/日高 恒 撮影/岩橋 昇

「自己資金ゼロ、銀行融資だけで昨年11月にオープンしました。開店当初は1日に5、6人の客だけ、これはアカンなと思って、いたら、2か月からクンと伸び、いまは1日平均50人位の来館者です(「オーナー」・小山利行氏、32歳)。タカラマン砂漠のまわりにあるオアシスを模したという館内は約30坪、13の個室に仕切り、各室に水晶皿、手相、タロットなどあらゆるジャンルの占い師が鎮座している。客は凡い靴きかからお好みの「先生」を選択するシステムだ。料金は中学生1000円から一

列をなした。

路地裏、駅頭の暗い片隅で女にやらあやしげな窓竹さばき……占いのそんなイメージを一新したのがフアッシュ館内の占いスペースである。東京・原宿、おしゃれなブティックが軒を連ねる早通りの一画に占い館「塔里木」はある。

の夏、DCブランドの中高生たちはフアッシュ館のサマーバージョンと占い館に

「占いは不安産業だ——」とは、かの細木数子女史のご託宣。全国の占い師10万人の頂点に立つ女史の「アブナイ部分」も公開され出したが、第3次占いブームを背景に新種の占いビジネスが大企業を含め席巻中。その見えざる背景は!?



●●●古い「塔里木」。平日の昼間からローティーンの女の子たちがたむろしている。古い料金は中学生1000円、高校生2000円、大学生2500円、大人3000円。左は、経営者の小山利洋氏。本人は古い師ではない

「ウチの方が老舗。アナチ（塔里木）は客引きっぽいけどもして。東京の人間はともかくも真似できません……」「スター」はタレント志望であった張さんが1500万をかけた5年前の開店

「塔里木」から歩いて5分、目と鼻の先のビル3階には、カフエー風の古い店「スター」が。ここらは「ホラードーム」風のおどろおどろしいムード。経営者は女性のお師匠エニシさん。東京は杉並区生まれ、年齢不詳。

較3000円までのチケット制。気に入った部屋と古い師が決まったら、チケットを古い師に渡し占ってもらおう。「明会会計」「完全個室」の薄利多売法がウケている。現在の売りあげは後発参入組を意識してか「コメント」だが、客数から推測して月商600万円前後だろうか。日本占術家協会派流道のべ60名の古い師たちと僅けを折半する。

「あまり儲かっているんじゃない」というが、現在、原宿にもう1店、渋谷にも古いコーナーを経営している。

「塔里木」を「アソク」とすれば、こちらは「ホラードーム」風のおどろおどろしいムード。経営者は女性のお師匠エニシさん。東京は杉並区生まれ、年齢不詳。

「あまのこ」は、神戸でデイスコなどを経営する商社の子代目にあたる兄弟だが、親の仕事を受け継ぐだけでは飽き足らずに始めたという。

「スター」はタレント志望であった張さんが1500万をかけた5年前の開店

「塔里木」から歩いて5分、目と鼻の先のビル3階には、カフエー風の古い店「スター」が。ここらは「ホラードーム」風のおどろおどろしいムード。経営者は女性のお師匠エニシさん。東京は杉並区生まれ、年齢不詳。

「あまのこ」は、神戸でデイスコなどを経営する商社の子代目にあたる兄弟だが、親の仕事を受け継ぐだけでは飽き足らずに始めたという。

この新市場をターゲットに、ユニー

「スター」はタレント志望であった張さんが1500万をかけた5年前の開店

「あまのこ」は、神戸でデイスコなどを経営する商社の子代目にあたる兄弟だが、親の仕事を受け継ぐだけでは飽き足らずに始めたという。

**占いビジネスがSPP市場へ  
「古いセミナー」と称して  
有名古い師30名を組織化**



●●●原宿の老舗古い師、佐エニシ氏。古い料金は1000円から。下は、氏が5年前に開店した「スター」。こちらも若い女性に人気がある



が額を争っている。ある部屋を覗いていたら、「おニエさん、こっちはおいで」とばかりに、手招きされたのは驚いた。

「古い占い師と先生の招べる古い師（山下氏）……古い師たちも必死なのだ。」「古い占い師」だが、山下氏によれば、1日に500人の客が訪れるという。

「結局、薄利多売の収支はトントン。」「1人の有名なタレントを作りあげた方、元ミス日本嬢を古い師に仕立て、音楽ビジネス」なのだという。



↑神戸・元町のファッションビル「ジェム占いの街」とプロデューサーの山下嘉範氏。お好みの占い師を選ぶシステムで料金は2000円から

人気占い師を招き、人集め的手段とする催しが根強い人気を持っていた。これに目をつけた古川社長は、4月から本格的に占い活用ビジネスに乗り出したわけである。

現在、阪神デパート、フジサンケイグループの夢工場、京都太秦の映画村などへ、「占いの店」を出店。今後は、「出前占い」をさらに発展させ、「保険・自動車セールスマン、各企業の人事担当者を対象にした「占いセミナー」をやりたい」とのことで、有名占い師30名を組織化している。

イラストレーター出身、「アド勝己」のタレント名も持つ社長のアイデアは中小企業経営者を対象にしたあるセミナーに参加したことがキッカケだったという。

「講師は占いの浅野八郎（日本占術家協会会長）。今はモウカラン、モウカランの時代。これからどんな業種が有望かという話になった。先生は、H・G・Mの時代だ」というんだ。Hはヘルス健康関連事業、Gはゴッド・神サマ事業、Mはマインド・心、情緒産業——これが現代のテーマです、と」

田高不況、空洞化社会の中のニュービジネス論を熟っぽく展開する古川氏

だが、占い活用ビジネスの成否は「有名占い師をいかに集めるか」にかかっているようだ。「美人で説得力のある女性占い師の人氣が高い」という。イベントの中の占いブームは、タレント的なスター占い師を誕生させているのだ。

「関西を代表するイベントスター」（前出・山下氏）といわれているのが、フアッションモデル出身の美人占い師朱麗華さん、年齢不詳。神戸・占いの街にゲスト占い師として、「個室」を持っているが、本拠地は大阪・心斎橋の「占いタウン」。両親とも占い師で、親子トリオの美人占い師として人気を博している。しかし、約2年前から「占いコーナー」の鑑定よりも、各地のイベントに招かれる仕事の方が忙しいという。

「ホテルの年末年始の開運占い、自動車の販促イベントから始まりました。モデル出身ということもあり、資生堂、コーセイ、カネボウなどの化粧品店で開運メイクなどもやっています」

人相を基調とした色彩心理学の応用ということである。取材の翌日は呉服メーカーのSPイベントで四国へ行くという。

「高いモノを買うわけですから、私の占いが付加価値として少しでもお役に

立てば……」しかし、客のサイフを弛めるための占いは「疲れますね」と本音もチラリともらした。

名古屋では30名の女性占い師を率いて「占いの玉手箱」を主宰している竹村亜希子さん（37歳）が有名だ。

「占いを情報化してビジネスに役立てるといふ発想でやっています」という竹村さんは、「占い師の顔」とプロデューサーの顔の両面を持っている。

昨年は「サン・シヨルデイの日」というスベインの風習（男性は花、女性は本を贈る）を日本のギフトデーとして根づかせようと奔走した。

最近ではSP会場に占いコーナーを出前するだけでなく「開運観葉植物展」「開運化粧法」など、実演を兼ねたイベントショーの企画・演出も手がけ、企画

室を独立させた。名古屋市内に占いの常設コーナーを4か所、土・日に集中するイベントは、多い月は20か所にもなるという。いわば、占い師のブレイクイベントはショーですからお遊びですが、占いはマジメに対応しています」

アイデアと行動力を武器に活躍する竹村さんは、占い師の顔よりもプロデューサーの顔の方を強調した。

「女性や子供向けの店頭イベント、販売店の連携強化の招待イベントなどに占いはうってつけです。新種の情報サービス業だと思っています」とは、前出の古川社長の言葉だが、SP市場には大手の参入も見込まれており、ビジネス・チャンスの有望株と目されているようだ。

## 大手企業も「占い」に参入 仕掛け、仕掛けられる企業 「経営方針」から「人事」まで

占いビジネスの取材に入った7月7日、ニュースが飛びこんできた。

「占いをファックスで送信——松下電

送……（略）（日経流通新聞）

ファクシミリ最大手の松下電送が、占業界に参入したのだ。さすが、経



★吉屋の占いで儲けた「占い師」プロフェッサー・竹村幸子氏。個人で占いの種を占いで師として儲けている。



★福島のスター占い師・朱羅麻氏。神戸の自分の街と大阪・心斎橋の自分のオフィスを行き来する毎日。イベントもあり多忙

営の神様」とばかりに本社を訪問。  
「古いソフトの開発会社オークラとの提携商品です。松下としては、ナファックス（フアックス）と、さき売ればいっわけで、販売のツールとしてよからうと判断。営業力の弱いオークラはソフトの会員を増やすために手と手を合わせたわけですね」（松下電器流通部長・今江巨氏）

このフアックスと古いソフトのセット、オークラは会員制「フアックス」の購入だけが、「オシシステム」と呼ばれるオークラの会員になる。フアックスのオフライン需要は頭打ち、松下電通としては新規ユーザーの開拓を迫られている。  
そこで、喫茶店、美容院など、コンビニエータ占いのフアックスサービスをやっていったオークラと提携。フアックスと需要を盛りあげようという意図があるのである。いわばハイテク機器に占いのいう付加価値をつけた新販売戦略だ。「うさぎ臭くみらるる」という愛称もありましたが、オークラの信用調査の結果、重役会議で大失火というところまで、ゴーンになったわけだ。

会員制古いビジネスに優良企業・松下のお墨付きを買った形のソフト会社の会員システムは「こうなっている」。「個人、法人を問わず入会金と年会費を払うと会員になります。例えは喫茶店の場合、お客さんを対象にフアックスと占いをさせるわけですが、一回の占いの料を1000円として5000円をうちに納めるだけ。50日、5000円が店の利益となります」。オークラ東京支店長・日本女推命学会外部部長・合掌一郎氏。



★アド・アイトマ社長の吉川博輝氏。古いイベント、の仕掛け人

員となつたワコールアートセンター内の総合美容サロン・アモ園を訪ねた。流行のエステティシャン・アモ園である。以前、お客様サービスとして霊感占いにお客さまに来ていたのですが、なんとなくコワがつて成功しなかった。機械だとそんなこともなく、口コミで新しいお客さまもきてくれます（輪島順子店長）

爪の手入れの間を利用して占って貰っていた陽川レイ子さん。勉強評論家は「気学（古い）の一種を勉強したわたしから見ても、基本の所は大体当たっています」とのことであるが……。  
この種の古いビジネスを開発、販売する業態は古いソフトを新しく、波立として注目されている。パソコンやポケコンを駆使、情報化社会に合わせた占いを、というわけである。  
ソフトはインフラとされる古いデータによつてさまざまなが、運勢や相性診断から始まって、果ては企業の「人事相談」や「採用の相見」などという事もある。

早稲正樹氏  
企業の間い合わせは「経営方針」「人事」「新規事業のスタッフ構成」などで「名はあかせないが、一流企業幹部が直接来社することもたびたびある」といふ。  
コンビニエータ占いの利点として「スピイ（占い）の占いの余計な解釈がらないなどをあげる早稲氏が、ユーザーはすぐに「と」反論するのは「古いの街」に導入を考えたこともあるという。前出の山下氏である。

「機械」コンビニエータソフトにデータをインフラとするのは、もともと人間占ひだ。古い人間対人間で納得するまでやりあわなくちいけません。と自説を語る。それにしても、各ソフト会社で占って貰ったが、全く異なる回答が返ってきたのはなぜだろう？  
「気にするアノコとうまくいかか？」  
なんていうマジメな相性診断が興いたのか。

ブームに乗った古い簡易版、販促への古い活用、大手優良企業も巻き込んだコンビニエータ占いの「占いキ」などは想像を絶しているが、「占いキ」「うさぎ臭い」の代名詞的存在であった古い占いが、ビジネス最新顔へ登場するのは相対的の事情と背景があるほどだ。二ユービジネス界の論者がとて名高いナムコ・中村推哉社長は、こう公言したことがある。

**「ベンなモノ」が売れる時代  
現代人の不安と欲の深さが  
占いビジネスの繁栄の源**

は精神的サービスで情緒産業と呼べる第5次産業の分野が伸びるだろう？……  
そして、第6次産業の分野があるとするれば、それは第5次産業の分野だと云っている。古いビジネスは、その第5次、第6次産業への案内役なのかもしれない。  
一部の企業経営者が古い師や霊能力者と呼ばれる人をお抱えのアドバイザーとして持つことも流行しているといふ。経営の神様、松下幸之助氏と霊感



★松下電通と日本の推命学会が組んだフアックス占いを置く美容院



★日本の推命学会・渉外部長の合掌一郎氏。松下電通と提携に成功



★松下電通・総合企画部・広報宣伝課の今江巨部長



●「情報機器をコンピュータにのみあて、種別ごとの用途別の活用をすすめていく」を旨に、パソコンで古い書籍を売っているところ。わずかな利益と目撃。

古い師藤田少夫さんとの関係は有名だが、前出の竹中幸希子さんも有名な財界で引つ張りコノダの。  
 「名古屋に本社をおく1部で、本社会社の相談も月に5回はありまう」という竹中さんの話を聞いていると



●古いソフト一覧表

商品名	企業名	ソフト内容
システム	オークラ+松下電通	四社推命+運命学
SDCS	デイ・アイ・アイ	四社推命など中風五南
近代占い (鑑定のみ・ソフト販売はなし)	高島易学研究所+NTT	四社推命、九星、十二支など
パピルスジュニア	日本ソフトエンジニアリング	簡易手相占い
漢字占い・姓名判断	ICランドスター	漢字占い・姓名判断
漢字占い・運勢判断	ICランドスター	漢字占い・運勢判断
四季	ダイツ	四社推命占い
パソコン占い・ヘルパー	チャンピオンソフト	相性・性格・将来運判断
パソコン占い・ヘルパー	チャンピオンソフト	トランプ・カラー手相

# ■本誌好評連載の『BOOKSIN WARS』が単行本になりました！ 題して、『モノ余り時代のドット商品物語 もいらないだから売れる』。

タイムも創刊1年半。ようやく「DIME BOOKS」として単行本を出すことができるようになりました。  
 第一弾は、本誌好評連載「BOOKSIN ESS WARS」を集約した『もういらない だから売れる』です。  
 掲載テーマは、連載記事のなかから

商品開発の最前線に位置するテーマで  
 ビックアップ。安くてもうまくて、立ち飲みはおしゃれ(1500円コース)。  
 「アルバイトは人生の予備校」(アルバイト情報誌)、「GSだつて女にもてなきやダメよ(カソリンスタンド)」より速く人から人へ「バイク宅配便」など、

構成しました。  
 こうしたテーマをまとめることは、時代を「横に読む」という点で、とても有効な作業です。今回もそうでした。著者の片山修氏は、本書の前書きで次のようにいいます。  
 「何を作っても売れない」と嘆き声が

聞こえる。しかし、消費者は購買意欲を失ったわけではない。身近なところ現代人の感性を刺激する商品たちがころがっている――」

仕事に本書のアイデアを生かすのも可能。エンターテインメントとしても楽しめます。定価850円。よろしく。

経営者たちの「古い」組み。の風潮に驚かされるばかりだ。  
 その相関内容人事、経営、流行のC1相関など、ブームとなったヒッポクラテスの東にも古い師や能力者の活躍がある。というのは、直感やドバイヤとしてある企業に因りて「情報力研究の林出直人氏」  
 「情報力」と呼ばれる人形師、とくに古いや超能力関係商品のほとんどに言ふるの形で関わっています。と断言するのだ。真偽を確かめべく、いくつかの製造メーカーに買ったがいずれも「ブーム」であった。  
 人形のヒット商品は、「龍馬くん人形」(サムコ、25万個)、「マイティオ人形」(黒崎イーターナショナル、15万個)などがあるが、現在ブームになっているのは、「こっくりさん人形」(アウヤ製)、3月末に出荷しすでに10万個が売れた、このころ急遽に伸びているがヤング向けのお守り、カード、ペンダントなどの古い関連商品だ。「ココロ」というのも売れ出した。単品の安い商品がほとんどだが、なかには「見子供」などの商品に占

高めたものもある。オカルト」の付加価値を「古い」ビジネスの将来性といえは、モノを扱う業種には単一の側面がある。限りなく、霊感分野」に近づいていくわけです。その分野は行政も取り締まり規定を検討中と聞いています。「経営コンサルタント・A氏」  
 ホントは価格の高過ぎたろう。それにしても、なぜこうも売れるのか。「昔は良しモノを作れば売れる」という時代、いまはオリジナルだけでいい。今までのメーカーは、ただで通じないから、ペンなモノが売れるんです。広告代理店が仕掛けています。モノからトキヘのひそみにならなれば、モノからココロへ」というのが僕らの分析です(前出、林出直人氏)。

「モノからココロへ」は玩具の商品開発にとよまず、セーブルス・ハウの研究、市場調査、特許くりなどあらゆるジャンルに満ちています。「ココロ」の周辺を探索している企業は後をた「アパレルメーカーの路線は、ジブシ」  
 1占いの「族に生まれ育つ」という超能力者を招いて社員研修、メガネのパ  
 リミキは、客の生年月日から性格を占ってセーブルスに生かすという社員教育に古い師を起用。京都財務教育」と呼ばれる企業家にも宗教、古い、超能力などを接近。ビジネス化しようという動きがある。例えは、宮澤の社長の稲盛氏は氏族の経営コンサルタント、東京の出版社長と組み、中小企業経営者を相手とするセミナー事業を発見させた……これは有名な話です(前出、経営コンサルタント)。  
 そういえば、大阪取材中にこんな話を耳にした。ある大手電機メーカー傘下の法人が出資して、古いを取り入れた「命名セッター」などの商品化したという動きがある。  
 まことに、ペンなモノが売れる「ペン」時代の。  
 あの細木大史氏は現在の古いブームを評して「一般の欲が深くなくて、現代社会のニーズにあった状況です」と語っている。宗教や古い世の中が激しく変動する時にもはやさ  
 いゆる世紀末……。先が見えない、不透明な時代の中で、古いビジネスは、いまもいかにあつちやアタタかなのかも